2021年度　市立秋田総合病院　新人看護職員　年間計画表

記されている研修・演習は予定なので、時期や内容に変更が生じることがあります

最終到達目標	◆ 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する　◆ チームメンバーの役割を遂行できる　◆ 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる											
時期	4月～5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	○ 社会人としてのマナーを身につける ○ 指導を受けながら、チームの一員としての役割を理解できる ○ 報告・連絡・相談ができる ○ 指導を受けながら、ケアの受け手に基本的な援助ができる ○ 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる			○ 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる ○ 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる ○ 助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる ○ 自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる ● 助言を受けながら、7月には日勤以外の勤務を経験できる ● 助言を受けながら9月までには夜勤勤務に入ることができる				○ 助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる。またその情報を関係者と共有できる ○ 助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや価値観を理解しケアできる ○ ケアの受け手の状況から緊急度を捉えることができる ○ 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる ○ 自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる			
集合研修 講義等	新採用者オリエンテーション	臨床実践能力評価について、ナーシングスキル	新人ナース支援Ⅰ	フィジカルアセスメント（腹部）	薬品の取り扱い	輸血研修	新人ナース支援Ⅱ	経管栄養法	救急急変時の看護記録	退院調整	新人ナース支援Ⅲ	
	病院看護部理念、医の倫理	医療安全対策・感染予防対策	（夜勤オリエンテーション）	検体の取り扱い			インシデントレポート				死後のケア	
	情報セキュリティー	医療機器の安全な取り扱い		4側面での情報収集			看護者の倫理綱領					
	インフォームドコンセントと個人情報保護	採血・注射の基礎知識										
	記録の入力,基本的カルテ操作	フィジカルアセスメント（循環・呼吸）										
集合研修 演習等	輸液ポンプ・シリンジポンプ	酸素吸入・吸引	導尿、浣腸		食事支援	身体拘束						
	モニター心電図の見方		褥瘡予防対策・ボディメカニクス									
	採血・静脈注射の実技訓練		入院の取り扱い									
OJTによる看護技術	療養環境調整	体位変換	体動・移動に注意が必要な患者援助	経口与薬、外用薬、直腸内与薬	無菌操作の実施	入眠・睡眠の援助					1年の振り返りを各部署で発表（3月）	
	ベッドメーキング	ストレッチャー移送	褥瘡の予防	酸素吸入療法	針刺し切創、粘膜暴露等による職業感染防止対策と 事故後の対応	経管栄養						
	入院オリエンテーション	寝衣交換等の衣生活支援・整容	静脈内注射、点滴静内注射	安楽な体位の保持	転倒転落防止策の実施							
	バイタルサインの測定と入力	移乗介助・移送	血糖測定と検体の取り扱い	浣腸・摘便・導尿	食事介助							
	身体計測（身長、体重、腹囲）と入力	意識レベルの把握	静脈血採血と検体の取り扱い		チームメンバーへの応援要請							
	パルスオキシメーターによる測定	患者誤認防止の実施	輸液ポンプとシリンジポンプの準備と管理		抗菌薬、抗ウィルス薬等の用法の理解と副作用の観察							
	清拭	歩行介助	誤薬防止の手順に沿った与薬								（気管挿管の準備と介助）	
	部分浴・陰部ケア・おむつ交換	標準予防策の実施と必要な防護用具の選択	口腔ケア								（人工呼吸）	
	車いす移送		吸引								（気道確保）	
	自然排尿・排便援助		重症度、医療・看護必要度								（胸骨圧迫）	
	体温調整											
	医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い											
							未経験項目が多い部署は他部署への棟外研修					
市立病院実務	ECG・X-P・超音波検査　CT・MRI											
	他受診の仕組みと実際　入院患者の準備　予約入院患者の迎え		入院時必要な業務									
テスト	採血・注射認定試験(実技・筆記)	針刺し切創、粘膜暴露等による職業感染防止対策と事故後の対応	褥瘡　酸素吸入療法　吸引	フィジカルアセスメント	食事支援	輸血	経管栄養					
		患者誤認防止　フィジカルアセスメント	浣腸・導尿			身体拘束						
評価	□臨床実践能力（共通・部署別）	□4月の振り返り	□組織的役割遂行能力・自己教育研究能力 □5月の振り返り	□6月の振り返り	□7月の振り返り		□組織的役割遂行能力・自己教育研究能力	□8～10月の振り返り			□組織的役割遂行能力・自己教育研究能力 □11～2月の振り返り	
各部署で修得が必要な看護技術等												